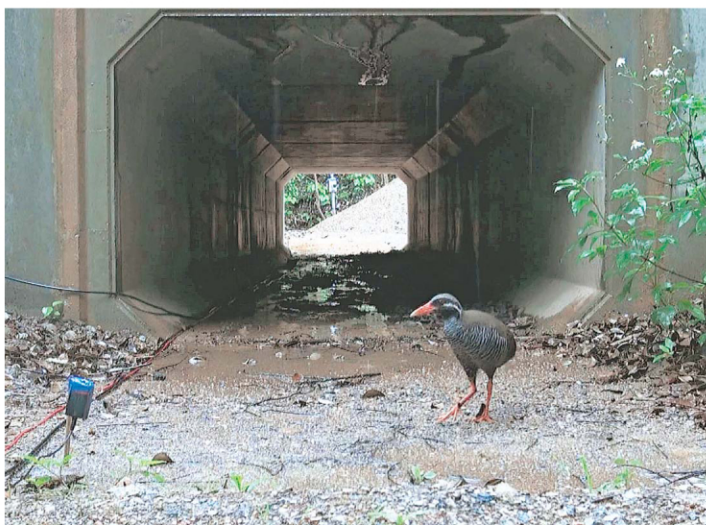


クイナフェンスによる移動の分断を解消するため設置されたクイナトンネル（沖縄総合事務局提供）



総合事務局調査 道路進入ゼロに

【国頭】沖縄総合事務局北部国道頭村の国道58号に設置した小動物の横断道路（クイナトンネル）の調査結果を発表した。2011年（6月下旬～7月下旬）は、固定カメラで観察されたヤンバルクイナ57羽のうち17羽（30%）がクイナトンネルを利用した。道路に進入したクイナはゼロで、同事務所は「交通事故の不安はなく（道路進入防止柵による）移動の分断を改善できた」としている。

沖縄総合事務局はヤンバルクイナの交通事故を防ぐため、07年から道路進入防止柵（クイナフェンス）を設置した。フェンスでヤンバルクイナなど小動物の移動が分断されるため、10年にクイナトンネル1基を試験的に設置した。1日当たりの道路進入個体数は、07年のクイナフェンス設置前は12・5羽だったが、同年のフェンス設置後はゼロになった。

国道58号全体の交通事故は10年6羽、11年は6日現在ゼロ。クイナフェンスの設置区間では交通事故は発生していない。

クイナ3割トンネル利用



【国頭】沖縄総合事務局北部国道頭村の国道58号に設置した小動物の横断道路（クイナトンネル）の調査結果を発表した。2011年（6月下旬～7月下旬）は、固定カメラで観察されたヤンバルクイナ57羽のうち17羽（30%）がクイナトンネルを利用した。道路に進入したクイナはゼロで、同事務所は「交通事故の不安はなく（道路進入防止柵による）移動の分断を改善できた」としている。